

# RC 床版橋の劣化に関する研究

平成 30 年 2 月 中村 碧

## 要旨

### 目的

我が国では橋の老朽化が問題となっている。今後ますます老朽化した橋は増え、その維持管理はさらに大切になってくる。橋の劣化状態と劣化原因を探ることが効率的な維持管理につながるため、本研究では長野県が管理する RC 床版橋の劣化の状況を把握し、劣化の要因について考察した。

### 手法

対象となる橋梁のデータをまとめ、多変量解析を行った。多変量解析では因子分析で劣化要因を縮約し、クラスター分析で橋梁をクラスターに分けた。そして分散分析と写真分析を行い、劣化状況や劣化原因について考察した。

### 結果

凍結融解による凍害、融雪剤による塩害、鋼材の腐食が橋の劣化の要因に影響していた。特に佐久・上小では凍害による劣化、木曽では塩害による劣化が進行していることが分かった。寒冷地では路面の凍結や積雪のため、凍結融解や塩害は重要な問題である。そのため定期的な点検・補修が大切である。